

	レスパイト	レスパイトとは、一時延期や一時的な中断、息抜き、小休憩といった意味を持つ。レスパイト入院とは、在宅で医療的管理をしている家族の介護休暇（息抜き）目的で、一時的に入院することを指す。
	レスピレーター (人工呼吸器)	呼吸が十分でないか停止している場合に、呼吸を助ける目的で用いられる器具や器械をいう。肺へ空気や酸素を送り、肺で交換された炭酸ガスを体外に取り除く機能を有している。 付記 (カボイト) 国際的には、レスピレーターではなく、肺換気を目的とする機械という意味でベンチレーター（人工換気器）と呼ぶのが正しい。
A	ADL (エーディーエル)	日常生活動作のこと。日常生活動作とは、食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など、生活を営む上で不可欠な基本動作を指す。
	ALS (エーエルエス)	筋萎縮性側索硬化症。運動ニューロン（身体を動かすための神経系）が変性することで起こる病気。徐々に筋力が低下し、その進行は速く、嚥下障害や呼吸筋の障害が起こり、自力で呼吸ができなくなる。特定疾患（難病）に指定されている。
B	BP (ビーピー)	血圧。Blood Pressureの略。VSの項目参照。 付記 (カボイト) 正常値はVSの項目参照
	BT (ビーティー)	体温。Body Temperatureの略。VSの項目参照。 付記 (カボイト) 正常値はVSの項目参照
C	CCU (シーシーユー)	冠疾患(心臓の動脈に関連した病気)集中治療室
	COPD (シーオーピーディー)	慢性閉塞性肺疾患のこと。代表的な慢性呼吸器疾患の一つ。主に喫煙がきっかけになり、肺胞の破壊や気道炎症が起き、緩徐進行性および不可逆的に息切れが生じる疾患。通称「たばこ病」とも言われている。 付記 (カボイト) 慢性気管支炎、肺気腫（はいきしゅ）、びまん性汎細気管支炎など、長期にわたり気道が閉塞状態になる病気の総称のこと。
	CPA (シーピーエー)	心臓と呼吸が止まった状態のこと。人工呼吸や心臓マッサージなど迅速な救命措置が必要。
	CPR (シーピーアール)	心肺蘇生法。（心臓マッサージ、気道確保、人工呼吸、除細動）CPAの時行う蘇生法。
D	DM (ディーエム)	糖尿病
F	f/u (フォローアップ)	経過観察。フォローアップの略。
	Fx (フラクチャー)	骨折
H	Hb (ヘモグロビン)	赤血球の大部分を占めている血色素のことである。酸素を体内の組織に運び、そこで二酸化炭素を受け取って肺に運んで離し、再び酸素と結びついて組織に運ぶ役割がある。ヘモグロビン量を調べることで、貧血の種類や性質が分かる。
	HDS-R	改定長谷川式知能評価スケールで、認知症のスクリーニング検査としてわが国で開発されたもの。満点は30点で、20点以下で認知症の可能性が高いとされる。
	HT (ハイパーテンション)	高血圧。Hypertensionの略。
I	IC (アイシー)	インフォームドコンセント。十分な情報の提供と説明による「理解」と「同意」のこと。医師が患者さんや家族に、病名・病状・診療の目的・治療方法の選択・費用等、内容の十分な説明を行い、患者さんや家族が納得・同意をした上で治療を進めていくことをいう。
	ICU (アイシーユー)	集中治療室のこと。高度な治療や容態管理を必要とする重病重態の患者を引き受ける場所。 付記 (カボイト) HCUはハイケアユニットのことで準ICUともいわれる。
L	LK (エルケー)	肺がん
M	meta (メタ)	がんの転移のこと。がんの骨転移のことを骨meta（コツメタ）という。
	MK (Mca) (エムケー)	胃がん ドイツ語：マーゲンクレプス（MK）→胃がんの事 英語：キャンサー（Ca）→がんの事 付記 (カボイト) マリグナンシー：悪性腫瘍
	MMK (エムエムケー)	乳がん
	MMSE (エムエムエスエー)	ミニメンタルステート検査の略で、認知障害の検出のために米国で考案された。日本では認知症診断の補助ツールとして活用されている。30点満点で11の質問からなり、見当識、記憶、計算、注意力、言語機能、構成能力についてみていく。27～30点が正常、22～26点が軽度認知障害の疑い、21点以下は認知症などの認知障害のある可能性が高いとされている。 付記 (カボイト) 質問がプライドを創つける内容だと捉えられることもあるため、検査に対する理解（協力）を得ることが重要とされています。